



『THE PARK』誕生までの軌跡

明治16年に建てられた米子の財産ともいえる旧家をリノベーションし、山陰初ファッションライフスタイル複合ビル「THE PARK」としてオープンさせた落合拓朗氏。今回は、落合氏とともに「THE PARK」主要メンバーが一堂に集し、「THE PARK」へ対するこだわり、思いなど語り合ってもらった。



落合 拓朗
1998年「think white」を設立。その後「plus」「plus matsue」「plus tottori」「salle de sejour」などを立ち上げる。「THE PARK」を含め現在6店舗を経営。座右の銘は「志高く」



潮 宏樹
bao代表。「STRIPES」なども手がける。落合氏から絶大な信頼を得ている潮氏は、落合氏の経営する全てのショップのデザインをする。「THE PARK」ブティックサイドのデザインを担当。



山根 大樹
鳥取市で絶大な人気を誇る「cafe SOURCE」オーナー。落合氏の熱いアプローチにより、「THE PARK」のカフェプランナーとしてプロデュース。「THE PARK」のカフェサイドのソフト部分全般を手がける。



坂本 健二
very所属。「SAFARI」「sunset」「ANTICA OSTERIA DELL'ALBA」などを手がける。特別な空間の中にも、どこかホッとするようなデザインが落合氏の心に留まる。「THE PARK」のカフェサイドデザインを担当する。

対談メンバー

落合 拓朗

「THE PARK」オーナー

潮 宏樹

ブティックサイドデザイナー

山根 大樹

カフェ総合プロデュース

坂本 健二

カフェサイドデザイナー

落合 いつも店舗デザインでお世話になっている潮さんに今回もお願いしたんだけど、今回、この店を手がけてみてどうでした？

潮 最近、セルフビルドで店を作っていく若い経営者が多い中、落合君は僕たちのような専門家のアドバイザーに受けて止め、店を作るたびにどんどんレベルアップしてきた印象が強くて、そういう意味でも、さらに考え方がグローバルになったという方が、今までと考え方が変わってきた感じがするね。

落合 そう言っていたんだけど嬉しいですね！

潮 どうしても自分の店となると、ディテールにこだわったりするんだけど、「この場所に店を作る」というマインド面を一番大切にしているのがよく分かる。

落合 やっぱ、建物自体の発しているパワーが凄かった。

坂本 そうそう！最初に見たとき、そのパワーに飲まれそうになったもん。「俺 vs 建

物」みたいな、こりゃ勝負だ！って。

一同 (笑)

坂本 で、結局、お互いに建物自体の良さを最大限に残すってスタイルになったんですよね？

潮 そう。お店づくりって、空気づくりなんだよ。だからもともと魅力あるこの場所の空気をどう活かすかって部分に力を注ぐことにした。ただ、古いものをありがたがるだけじゃなく、そこに、今、がしっかりと息づく空間づくりを大切にしたいわけだね。

落合 デザイナー陣のこだわった面って？

坂本 あえて古い物の中に見いだすコンテナポラーリなりラックス感というか、特別なんだけどテイラーに使えるデザインかな。

潮 派手な演出じゃなく、素材ひとつひとつに気をつけてるところだね。

落合 そういう考えが僕の考えとピッタリなんです！

「THE PARK」は、自分と近い感性のメンバーで作られたので、この建物の包容力がみんなの気持ちをもとにしてくれたのもありますね。

山根 でも、ソフト(内容)が良くないと、せっかくの器が台無しだよな。自分の店でも、ソフトという部分をすごく大切にしているんで、自分の蓄積してきたノウハウが「THE

THE PARK」でどう活かせるか楽しみな部分が多いな。

坂本 どういうアプローチが考えられますか？

山根 ずっと全国レベルのものを提供してきた自負があるので、米子だからとか、古い建物だからっていう気負いもなく、いつもどおりのフラットな感覚でやってみようかなって、続けていくうちに、風土とか気質とか、その町の色みたいなものがついてくる。僕としては、それはとても良いことだと思ってる。

落合 で、この店もそのアプローチで行くって？

山根 そういうこと(笑)それでどういうカラーに変化していくかが楽しみ。

坂本 これからが楽しみです！「THE PARK」は、僕らだけじゃなく、いろいろな人たちの力が結集してますもんね。

落合 本当にそうなんです。今日のメンバーもそうだし、グラフィックデザイナーさんや職人さんたちも本当に真実に取り組んでくれて...。ここをオープンするのに携わった人たちって、それぞれが経験豊かで一人一人の色を持ってて、そのみんなの色が「THE PARK」だと思ってるんですよ。

一同 そうそう！

落合 そうやって、いろいろな人間の考えや感性が融合し共有しているのが、「THE PARK」の一番の魅力だと思う。「THE PARK」のコンセプト通り、「5年後10年後も真剣に向き合えるお店」にしたいと思うし、何しろみんなに愛され続ける店に育てていきたいですね。

ショッピング&休憩にいかが

休日の街中散策にピッタリ 見どころ満載の複合ショップ

ショッピングが出来るスポットが多く、人気のある米子市の旧加茂川周辺。実はこの春、このエリアに“古いけど新しい”（←この言葉の秘密は右下を読んでね）複合スポットがオープンしたんです。メンズやレディースだけで

なく、小物など様々なアイテムが揃うブティックとカフェに分けられた「THE PARK」。見どころがたくさんなので、誰と行っても楽しめる。休日がたっぷりある5月、街中のお出かけスポットに出かけてみよう。

LADY'S MODE floor



“ありそうでない大人服”がコンセプトの「foundation addict」やスキニージーンズの草分け的存在である「superline」などが揃う。

MEN'S MODE floor



素材感のコントラストやバランスが特徴の「ANN DE MEULEMEESTER」やパリメンズコレクションで注目を集める「RAF SIMONS」などを揃える。

そのほかにこんなフロアも

ファッション小物以外に「DIPTYQUE」などのフレグランスブランドや、鳥取県在住の革細工職人・木村聡太氏のブランド「PELT」のブティック兼オーダーメイドサロンなど気になるポイントがたくさん。



買い物の後は カフェでひと休み

Café Dining Lounge THE PARK



ゆったりくつろげるカフェスペース

しっかり食事の出来るダイニングスペース

落ち着いた時間を過ごせるラウンジスペース

MENU

同じカフェ内に雰囲気異なるスペースが同居。メニューも豊富に掲載しているので、用途や気分に合わせて自分好みに利用して。

パスタランチやディナーセット、またフォカッチャやピザなどのオールタイムメニュー、スイーツ、ドリンク、アルコールなど幅広いメニュー構成。パーティープランも用意。

Café Dining Lounge THE PARK
☎ 0859-21-3355
🕒 11:30～23:00 (OS22:30)、全・土曜、祝前日 11:30～翌2:00 (OS翌1:30) 日無休

ココも注目ポイント



歴史ある建物を見事に利用 リノベーション空間に浸ろう

明治16年に建てられた「旧住田邸」をリノベーション。昔の家屋を活かした造りで、都会的なデザインながらもどこか落ち着いた雰囲気。いるだけで日常の喧騒を忘れられそう！



【THE PARK】
〒690-0001 米子市東倉吉町56
☎ 0859-21-3399
🕒 11:30～20:00
休 日 無 休
📍 同 無 休
🌐 <http://www.thepark.co.jp>

